



2.24 PDA 神奈川県公立高校即興型英語ディベート 体験会 (柏陽高校・横浜翠嵐高校)

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2019年9月7日(土) 09:30-12:00

会場：神奈川県立柏陽高等学校

参加者：生徒20名、教員4名

参加校：柏陽高校、横浜翠嵐高校

ジャッジ：各校教員、東京大学

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

まず、柏陽高校の校長の井坂先生より、挨拶の言葉をいただきました。その後 PDA スタッフより、PDA の団体説明と、代表理事中川先生（大阪府立大学・准教授）の紹介を、またなぜ今即興の英語で議論する力を鍛えることが重要かといったイントロダクションがありました。即興型英語ディベートの魅力、効用についての話に続いて、ルール説明がありました。

ルール説明後は、大学生によるモデルディベートを見ていただき、生徒さんたちに感じをつかんでいただきました。その後、早速ディベート実践です。ほとんどの参加者が自身の学校で一度は練習をしたことがあるという事で、いきなりの実践でも戸惑うことなく行えました。1ラウンド実践後、ジャッジから勝敗とその理由、そして個人コメントのフィードバックがあり、生徒たちは真剣に聞いていました。

続く2ラウンド目では、各テーブルジャッジからのアドバイスを参考に、論題に取り組むことができました。ほとんどの生徒が、論題が難しいと言いつつも、頭を使う楽しさや他校と交流する楽しさを感じているようでした。この授業で自身の英語力の伸びを感じている生徒も多くいるようでした。会が終了した後でも、一部の生徒が残って積極的にアドバイスを受けていたのがとても印象的でした。



参加者の声（アンケートより抜粋）

- ・理由を深く考えるのが楽しかった。
- ・他校との交流にもなって楽しかった。
- ・英語力とプレゼンの力の両方を高めたい。
- ・自分が思いつかない内容で反論をされ、なるほどと思うことも多く、面白かったです。
- ・とても難しかったけれど、先生方や大学生の方に的確な適切なアドバイスをいただけたのはうれしかったし、自分のためになったと思う。
- ・ディベートの内容が難しく、もっとうまくやりたいと思いました。
- ・他校の人と触れ合え、刺激になった。
- ・交流することで自分の意見が深まり、力をつけることができたと思う。
- ・

